

痕跡

「積む」という行為を経て成立する構造形式。まっすぐに積み上げる「平滑さ」を基準とするのではなく、一個一個を「積んでいく」というプロセス自体を表現し、さらに規格化された工業製品の持つ材料自体の持つ美しさを表現する。そのために、前後に5ミリずつの凹凸をつけて積み上げ、コンクリートブロック壁の素材と陰影の表情を楽しむことを提案する。

ガレージに、離れ（茶室、ゲストルーム）として使用する和室を付加する。ガレージとの境界壁は、瞬間調光ガラスとし、ガレージ空間と和室を一体化させることを可能にしている。構造は、コンクリートブロック壁をコの字型に左右対称に配置し、それ以外の部分を木造とする。

市街住宅地、別荘地など、ロケーションを選ばないプロトタイプとしてデザインした。

